

通勤費管理のシステム化で「攻めの人事」へ

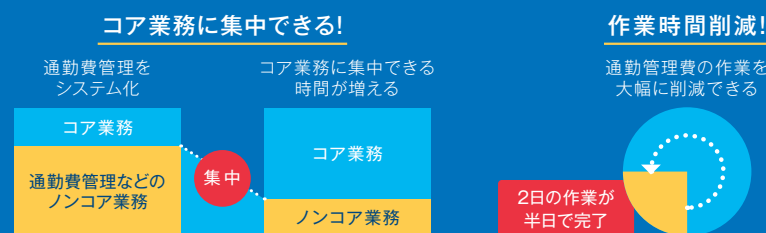
通勤費管理業務のシステム化で【攻めの人事】へ

1 “働き方改革”でコア業務に集中

“働き方改革”の旗振り役である人事・総務のスタッフ自身の業務の見直し・棚卸しは喫緊の課題といえます。通勤費管理などの意外と手間と時間のかかるノンコア業務をシステム化することにより、大幅な業務効率化と長時間労働削減に寄与します。

特に通勤費管理は煩雑な手順やルールの順守が求められ属人化しやすい業務です。システム化により引き継ぎや共有が容易となり、業務負荷が分散できます。

ノンコア業務から解放されることでコア業務に集中できるようになり、評価や制度設計など組織強化に向けた攻めの人事に注力できるようになります。



2 社員の利便性に配慮した魅力ある会社づくり

会社の魅力を向上させ、社員が働きやすい環境を整えることは人事・総務のミッションのひとつです。少子化時代を迎え人材獲得の困難さが増す中、「優秀な人材をいかに採用し、教育するか?」、そして「いかに離職を防ぐか?」は重要な課題です。

通勤費管理の視点からも「魅力ある会社づくり」が可能です。最も安い経路を求めるのではなく「多少高くとも通勤時間が短ければよい」「乗り換えが少なければよい」など社員の利便性を考慮して柔軟に対応することで、通勤のストレスや通勤時間を減らし、より働きやすい環境を実現できます。

柔軟な運用には公平性の担保が求められます。担当者の個人的判断で運用すると「特定の人だけが優遇されている」「自分だけ認めてもらえない」といった不満が生まれます。システム化は公平性を担保し、社員から愛される会社づくりに貢献します。

利便性に考慮した定期代の設定

定期代	✓ 定期券最安の経路に対して	120	%以内の経路
所要時間	✓ 定期券最安の経路に対して	10	分以上短い経路
乗換回数	✓ 定期券最安の経路に対して	1	回以上少ない経路

最安経路の定期代に余裕を持たせた経路も認可できる

3 社内規定や支給方法の見直しがスムーズにできる

人的作業で通勤経路を網羅的にチェックするには限界があります。システム化で適正経路の算出が容易になり通勤費の削減が可能です。

さらに、1ヵ月定期から6ヵ月定期へ切り替えることで大幅なコスト削減が期待できます。人的作業では運用上の負荷が膨大となりますが、システム化で一気に解決可能です。

転勤や引っ越しによる定期券の払戻し計算や経路変更の対応、各種社会保険や財務会計へのデータ出力などをシステム対応することで、担当者の負荷を最小限に6ヶ月定期への切り替えが可能です。

また、6ヶ月定期への切り替えにより通勤交通費を約10%以上削減できる経路もあり、経費削減効果も期待できます。

10% UP

消費税改正に備えて早めの対応を

消費税率の改正時には全社員の通勤費の再計算が必要になります。システム化で自動化し、ミスやトラブルを防止します。

4 通勤費管理のシステム化のカギは【準備期間】

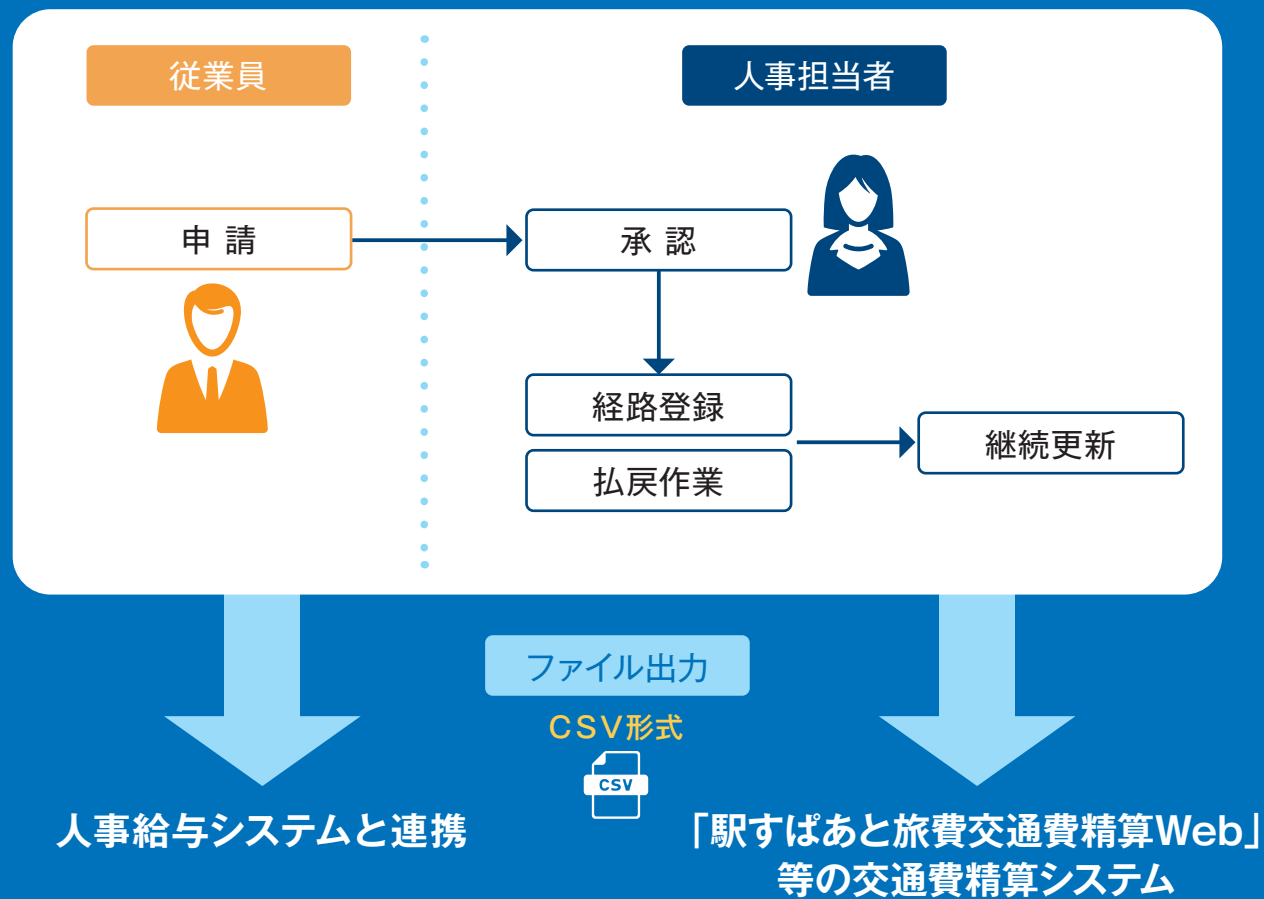
- 社内規定を整備する**
 - システム化は社内規定を見直すチャンスです。曖昧な部分を明確に規定したり、社員の利便性に配慮したルールに変更したりと古い規定を見直します。
 - 初期データ登録**
 - 社員の通勤経路を初期データとして「通勤費Web」に登録します。通勤費を申請・承認する作業に必要な時間を考慮します。
 - 社員への告知**
 - 通勤費支給のルールやシステムが変わることを社員へ告知します。
- システム化をスムーズに行いには準備期間が必要です。「入社や人事異動が集中する4月に向けてシステム化する」など、想定されるタイミングから逆算して早めにロードマップを作成しましょう。一斉導入にこだわらず、新人社員や特定の部署から導入するなどスモールスタートも有効です。自社の運用にマッチするか、使い勝手はどうかなどを確認し「FAQ」や「トラブル対処法」などを作成すれば、全社展開時にスムーズな導入が可能です。



給与担当の課題を解決し 無駄な作業を削減するクラウドサービス

課題

- ✓ 人事部門をコア業務に集中させたい
- ✓ 通勤経路と金額の確認作業の手間を省きたい
- ✓ 定期券の払戻し計算や区間変更に対応する負担を減らしたい
- ✓ 運賃改定に伴う定期代の見直しと支給データ更新が面倒
- ✓ 経費削減のために簡単に定期を6ヶ月に変更したい



特長

- ### 1 適正経路のチェック作業を軽減

① 住所～住所から自動で最適経路の検索
住所から複数の最寄り駅を検索し、目的地への最適(最安/最短)な経路を検索します。1つの最寄り駅で探索するよりも最適な経路となります。

② 自動車/歩行者ルートも地図で最適経路検索
自宅や目的地から最寄り駅までの自動車/歩行者ルートは、地図配信サービスで定評のあるゼンリンデータコム地図サービスを利用し提供します。

③ 経路の確認や検証作業もスムーズ
承認者は視認性の高いアイコンで瞬時に最安経路や最短経路等を判断できます。
- ### 2 支給規定に沿った申請

公平性に配慮した通勤経路・定期代の支給
バスの利用条件や自動車等の利用条件などを設定可能。申請内容を支給規定に沿って制御することができ、公平性に配慮した支給が可能となります。
- ### 3 属人化しない定期管理業務

システムによる業務の標準化が可能
支給規定の設定に加え「駅すばあと」による最適経路検索や最適経路の自動判定機能により、誰がシステムを利用しても同じチェック・判定ができるため、属人化しない定期管理が可能です。
- ### 4 運賃改定にも柔軟に対応

運賃改定を自動化
消費税率の引き上げなどで運賃が改定されるたびに発生していた改定対象者のリストアップや、支給データの更新を自動化。ワンクリックで定期代の差額を算出します。
- ### 5 払戻しも自動で計算

区間変更の払戻しも自動計算
最新の運賃情報を搭載した「駅すばあと」を利用して定期券の払戻し計算を行います。区間変更にも対応しバスの払戻し計算も可能です。面倒な交通事業者への確認作業から解放されます。
- ### 6 6ヶ月定期支給でコスト削減

約10%以上のコスト削減
6ヶ月定期の運用により煩雑化する払戻しや経路変更対応、各種社会保険や財務会計へのデータ出力に対応。担当者の負担を最小限にした切り替えが可能です。

機能一覧（一部抜粋）

申請



「駅すばあと」で検索した結果から、通勤費を申請できます。

通勤費明細のファイル出力



承認済の明細から、出力項目を選択してCSVファイルで出力可能です。

支給規定



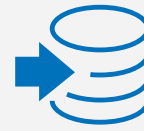
自宅や会社の最寄り駅の検索条件や、通勤費の支給規定などを細かく設定。

最適経路探索

全社員の自宅住所と勤務先住所で一括検索。最適な経路を自動算出します。



通勤費明細の登録・編集



申請された通勤費の登録・変更を行います。

給与情報



指定年月の支給金額や明細を表示できます。

帳票出力



通勤費明細（個人帳票）や一覧をExcelにて作成できます。

社員情報取得



CSVによる社員情報の取込が可能です。

払い戻し計算

社員IDを指定すると、その社員の通勤費明細をすべて払い戻しすることができます。



クラウドサービス

クラウドサービスのメリット

- 従量課金制で安心
- 短期間で導入
- インストール不要
- バージョンアップ不要
- システム担当者不要
- 最新情報に自動アップデート
- PCの入れ替えOK

料金体系は従業員数に応じた従量制

運賃情報はクラウド側で自動更新



当社は情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) プライバシーマークを取得しておりますので、個人情報の取扱いにつきましても安心してご利用いただけます。

価格

アカウント数(社員数)に応じた年額従量課金制です。
詳しくはお問い合わせください。

動作環境

ブラウザ: Internet Explorer (9.0以降 ※) Chrome (最新版) をご利用ください。
※お使いのOSでサポートされているバージョンに限ります。

お問い合わせ

月～金曜 9:00～18:00 ※祝日・当社指定日を除く
TEL: 03-5373-3511 MAIL: info@val.co.jp